

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム **NIFREL**

ニフレルで初めてオウギバトが誕生。バックヤードで子育て中。 子育ての様子をホームページで公開します。

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL（ニフレル）」では、2018年4月7日（土）にオウギバト1羽が初めて生まれました。現在バックヤードで親鳥が子育て中で、その様子を5月23日（水）よりニフレル公式ホームページにて公開します。



オウギバトの幼鳥(左)(5月3日撮影)



現在のバックヤードでの様子(5月15日撮影)

この幼鳥は、ニフレル2階「うごきにふれる」ゾーンで4月7日（土）に生まれました。今年2月ごろから親鳥が同じゾーン内にあるコツメカワウソが暮らす水槽の上に巣を作りはじめ、3月2日（金）に産卵を確認しました。ヒナは孵化後順調に育っており、ゴールデンウィーク頃には巣から降りて観覧通路を歩き回るようになりました。「うごきにふれる」ゾーンでは、オウギバト以外にもワオキツネザルやモモイロペリカンなど14種類45匹の生きものたちが共存しており、また水路も設置していることから、ヒナの安全を第一に考慮し、5月4日（金）より親鳥とともにバックヤードに移動させました。



カワウソ水槽の上での子育て(5月1日撮影)

現在は親鳥のほぼ半分くらいの大きさにまで成長しましたが、本種の特徴である頭頂部の扇状の冠羽（かんむりばね）が生え揃っておらず、どことなく子どもらしいあどけなさを感じさせます。また、親鳥と同じエサにも興味を持ち始めており、早ければ6月上旬にも「うごきにふれる」ゾーンに再デビューする予定です。

オウギバトの子育ての様子はニフレル公式ホームページ(<http://www.nifrel.jp>)で5月23日より公開します。

【オウギバトの幼鳥について】

《産卵日》2018年3月2日（金）

《孵化日》2018年4月7日（土）

《性別》不明（後日DNA鑑定により判別の予定）

バックヤードでの子育ての様子を取材希望の方は、下記までお問い合わせください。

NIFREL（ニフレル） PR・広報担当 田井、西前

TEL:06-6876-2204 FAX:06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》



名 称	NIFREL (ニフレル) (館長：小畑 洋)
運 営 会 社	株式会社海遊館 (本社：大阪市港区、社長：三輪 年)
所 在 地	吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
営 業 時 間	10：00～20：00 最終入館は19：00
休 館 日	年中無休。但し、年に1回設備点検のための臨時休業あり。
施 設 内 容	7つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、すがたにふれる、WONDER MOMENTS、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる (生きもの約150種・約2000点)】 ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200㎡・112席)、スーベニアショップ (NIFREL×NIFREL)
入 館 料 金	大人 (16歳以上)・高校生1,900円、小・中学生1,000円、幼児 (3歳以上) 600円
交 通	大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
駐 車 場	約4,100台 (EXPOCITY全体用駐車場)
構 造 規 模	S造 (一部SRC造、RC造) 3階建
建 築 面 積	約3,500㎡ (約1,060坪)
延 床 面 積	約7,200㎡ (約2,180坪)

- ※ 公式ホームページ <http://www.nifrel.jp>
- ※ ツイッター http://twitter.com/nifrel_official
- ※ Facebook <http://www.facebook.com/nifrel.jp>
- ※ インスタグラム http://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL

